

“この夏休み一番の思い出②”

「夏休み一番の思い出はオリンピックをテレビで見たことです。オリンピックで一番印象に残った競技は柔道です。ニュースを見ると、どこも『金メダルラッシュ』とはなしていて、日本で開かれているオリンピックで良い結果が来ると嬉しかったです。柔道の阿部兄妹の 2 人が試合をしている時には家族全員でテレビに釘付けになって見ていました。やっぱり夏と言えばスポーツだけど、こんなコロナ禍の時期で大会が無くなってしまったり、延期してしまったりと悲しい時もありましたが、テレビでオリンピック＆パラリンピックを見て、少し元気をもらった気がしました。」 (5 組)

「家族でアリオ柏に行って映画を観て、その後本屋に行って立ち読みをしたことです。お母さんが駅の銀行に行っている間に本屋に行って、買いたかった本を買えたことです。」 (5 組)

「塾の夏期講習を受けたことです。どの教科も難しい単元を学ぶことが多かったので、少し大変だったけれど充実していたと思います。夏休みが明けてからも、夏休み中とおなじように充実して過ごせるようにしたいです。」 (3 組)

「この夏休み一番の思い出は、友達の誕生日パーティーができたことです。他校だけれど、部活を通してすごく仲が良い子を、大きく盛大に祝うことができ、自分自身もすごく嬉しくなりました。」 (2 組)

「映画とドラマをたくさん見たことです。今までは全く興味がなかったけれど、ハマってしまいました。とても楽しかったです。」 (2 組)

「ゲームをしました。コロナが怖かったから、夏休み期間中は(塾、外食以外)家に引き籠ってました。そんなにストレスを感じませんでした。スプラトゥーン楽しかったなあ〜。」 (1 組)

よのなかルール 3 <「メシを食べる大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

「『なぜだろう』と考える習慣を、身につける。」

みんなが当たり前だと言っていることが正しいとはかぎらない。
それが本当に当たり前なのか、自分なりに疑問をもつようにしましょう。

